

# 笑顔をつなぐ、未来のために。

## いま、あなたの助けが必要です！



認定NPO法人 ちばこどもおうえんだんの

「こども・若者未来基金」は、

親がいない、または様々な理由により、

家庭で暮らすことのできない、「社会的養護下」

(児童養護施設、乳児院、里親・ファミリーホーム等)

のもとで暮らす子どもたちに寄り添い、

彼らの**自立を応援しています。**

「暮らすこと」「お金のこと」「働くこと」「学校のこと」

など、ほとんど後ろ盾のない子どもたちの自立には、

多くの困難がついて回ります。

「挫折しても再チャレンジしたい！」

そんな子どもたちの多様な自立を

**ぜひ、いっしょに応援しませんか。**

※写真はイメージです。

2024  
5/6日より

組合員の声に応じて、いつでも募金ができるようになりました!

### 募金 方法

「現金」と「ポイント」による2つがあります。「6ケタ番号」と「口数」をご記入ください。

注文用紙、またはインターネットでの注文時に下記の

#### 現金の場合

申込番号 **133230** | 1口金額:**300円**

申込番号 **133248** | 1口金額:**1,000円**

※募金された金額は商品代金といっしょに請求させていただきます。

※申込番号は通年で使用でき、HPでも確認ができます。

※のだ中根店には募金箱を設置しています。

#### ポイントの場合

申込番号 **169030** | 1口:**300ポイント**(=300円)

申込番号 **169048** | 1口:**1,000ポイント**(=1,000円)

※募金されたポイントはお手持ちのポイントから差し引かせていただきます。

※お手持ちのポイントが1口に満たない場合でも募金に振替できます。

(例) お手持ちのポイントが230ポイントで1口300ポイントの募金を申込むと230ポイントが募金に充当されます。

### お問い合わせ

パルシステム千葉 組合員活動・コミュニティ政策推進部

☎ : 047-420-2605 (月~金 9:00~17:00) ☒ : palchiba-katsudo@pal.or.jp

pal\*system

パルシステム千葉

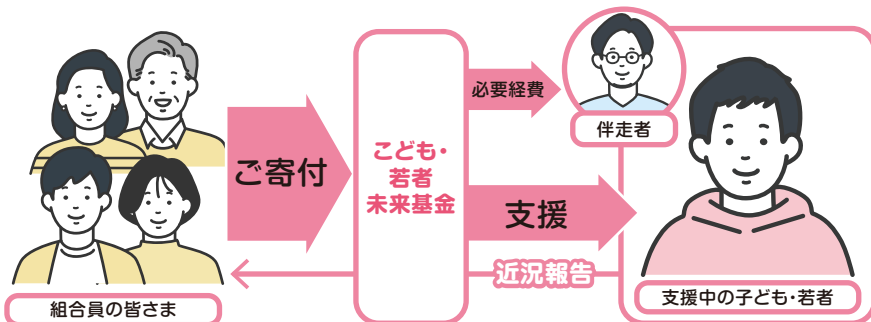
ちばこどもおうえんだん  
生活協同組合パルシステム千葉  
なのはな生活協同組合  
生活クラブ生活協同組合

# 「こども・若者未来基金」にご協力をお願いいたします!

## こども・若者未来基金のしくみ

「こども・若者未来基金」は皆さまからの寄付を元手に、「**子ども自身**」と、子どもたちに直接かかわり「**自立を支える伴走者**」へのおうえんをしています。

おうえんした子ども・伴走者からは**定期的に現状報告**を出してもらい、生活は順調か、困ったことはないか等、**見守り**を続けています。



## 児童養護施設を出たあとの子どもたちの状況

児童養護施設を出た子どもの進学率は、徐々に高くなってきていますが、**一般と比べると低い**状況にあります。

児童養護施設で育った子どもたちの進学率

約**25%**

高卒者全体の進学率

約**75%**

そして、せっかく進学しても、**学業とアルバイトの両立が厳しくなり**、やめてしまうことも少なくないのが現状です。

進学後半年で

約**5%**が中途退学  
(H25年度卒業児童)

進学後1年半で

約**14%**が中途退学  
(H24年度卒業児童)

また、就職しても、**さまざまな理由で長く続かない**傾向もあります。

就職後半年で

約**20%**が退職  
(H25年度卒業児童)

就職後1年半で

約**30%**が退職  
(H24年度卒業児童)

## このような支援が可能となります!

※必要な費用はケースによって前後する場合があります

1,000円の寄付が20人集まると...

大学や専門学校に進学した若者1人に1か月分の**生活費**を支援できます!

5,000円の寄付が40人集まると...

大学や専門学校に進学した若者1人に**入学費用や授業料**を支援できます!

1万円の寄付が25人集まると...

就職や進学で一人暮らしを始める若者1人に**新生活の初期費用**を支援できます!

## 助成を受けた方の声

※2022年度実績

Aさん

将来、心理学関係の仕事につき、悩みや不安を抱えている人たちの助けになりたいです。くらしサポートの給付を頂けると、**心に余裕を持って生活できます**。

Bさん

児童相談所で活躍する保健師の方を見てから保健師として働くのが夢です。大学入学後、地域の方との繋がりを大事にして**社会的にも経済的にもしっかり生活できるようにしていきたい**です。

こちらの動画もご覧ください▼



# 皆さまの力が集まると、より多くの子どもたちの生活をおうえんできます。